

骨鉗子シリーズ

【禁忌・禁止】

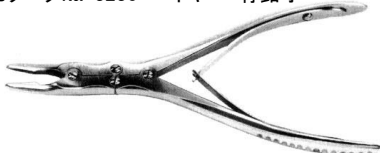
- 1)本製品の刃先を曲げたり、切削等の二次的加工(改造)することは、変形や折損等の原因となるので絶対行わないでください。
- 2)本器を清掃する際には、必ず中性洗剤をご使用ください。酸性、又はアルカリ性の洗剤は、本製品を腐蝕させるおそれがあるので、絶対に避けてください。
- 3)使用時に必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。また、本来の使用目的以外に使用しないでください。

【形状・構造及び原理等】

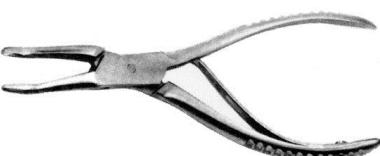
1. 材質:ステンレス鋼

2. 形状又は構造

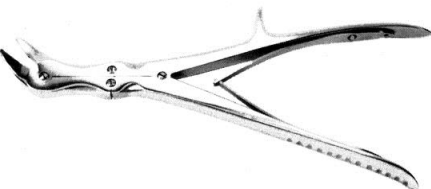
カタログNo. 3230 ベイヤー 骨鉗子



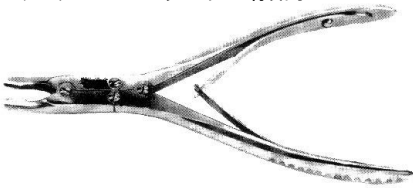
カタログNo. 3231 ヤンゼン 先細型 骨鉗子



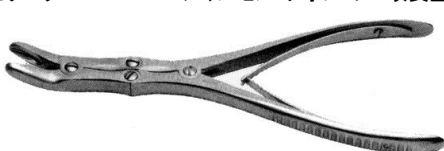
カタログNo. 3330 エクリン ダックビル 骨鉗子



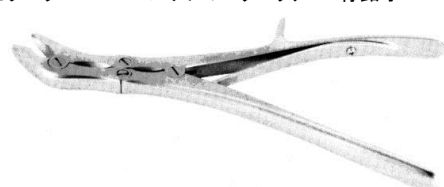
カタログNo. 3335 ラスキン 骨鉗子



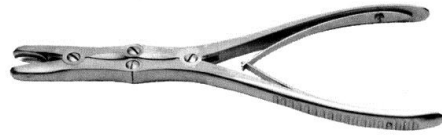
カタログNo. 3337-01 ジャンセン ゴフォエル 改良型 骨鉗子



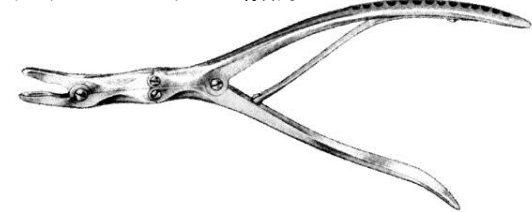
カタログNo. 3340 スチルレ リュウアー 骨鉗子



カタログNo. 3353 スチルレ リュウアー 改良型 骨鉗子



カタログNo. 3355 レクセル 骨鉗子



カタログNo.	規格	カップ サイズ	全長
3230	微弯型	3×15 mm	18 cm
3231	先細型	5×13 mm	18 cm
3330	側弯型	3×15 mm	23 cm
3335	微弯型	5×20 mm	19 cm
3337-01	反型	6×15 mm	23.5 cm
3340	側弯型	8×14 mm	23 cm
3353-01	直型	8×15 mm	21 cm
3353-02	反型	8×15 mm	21 cm
3355	微側弯型	3×16 mm	25 cm

3. 原理

骨鉗子の多くは二連関節型の形状で、少ない力で効率的に切離できるデザインとなっている。

【使用目的又は効果】

先端の鋭匙状の刃先で、軟骨又は骨等を切截するための鉗子である。なお、本品は再使用可能である。

【使用方法等】

本品は未滅菌のため、使用に際しては必ず洗浄し、下記の条件又は医療機関により確認され、検証された滅菌条件において滅菌を行って下さい。

滅菌方法: 高圧蒸気滅菌

滅菌条件: 温度 121℃以上、時間 30 分

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

本品は未滅菌のため、使用前に必ず洗浄・滅菌を行ってください。

<使用方法に関する使用上の注意>

- 1) 用途に応じたサイズ、形状のものを選定し、軟骨又は骨の切離以外の目的で使用しないでください。また、折損や曲がりなどの原因となるので、使用時に必要以上の力を加えないでください。

- 2) 使用後は、鋭匙状の刃先、及び二連関節の接合部分の組織片を除去し、付着している血液、体液、組織及び薬品等を直ちに洗浄してください。
- 3) 塩素系及びヨウ素系の消毒液は、腐蝕の原因になるのでできるだけ使用を避けてください。それらが付着した場合は直ちに洗浄してください。

〈不具合・有害事象〉

本器の使用により、以下のような不具合・有害事象がおこる可能性があります。

- 1) 本器の適切な洗浄、滅菌を行わなかったために起こる感染。
- 2) 必要以上の力を加えたことによる、器具の変形や刃こぼれ。

【保管方法及び有効期間等】

- 1) 保管にあたっては、洗浄をした後、腐蝕を防ぐために必ず乾燥してください。
- 2) 滅菌済のものを保管するにあたっては、再汚染を防ぐために清潔な場所に保管するとともに、有効保管期間の管理をしてください。

【保守点検に係る事項】

- 1) 使用後は、できるだけ早く血液、体液、組織片などの汚れを除去し、感染防止のために洗浄してください。汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、適切な濃度で使用してください。
- 2) 洗浄装置(超音波洗浄器、ウォッシャー ディスインフェクター等)で洗浄する際には、刃物が接触して先端を破損することがないように注意してください。
- 3) 洗剤の残留がないよう、十分にすすぎをしてください。仕上げすすぎには、浄化水(ろ過、蒸留、脱イオン化水)を用いることを推奨します。
- 4) 洗浄後は、腐食防止のために、直ちに乾燥してください。
- 5) 洗浄後、汚れ、キズ、サビ、曲がりがないか、また刃先の噛み合わせ、変形、刃こぼれなど異常がないか、点検・確認してください。異常を認めた場合には、直ちに修理調整を行ってください。
- 6) 強アルカリ性、または強酸性の洗剤や消毒液は、器具を腐蝕させるおそれがあるので、絶対に使用を避けてください。中性洗剤の使用を推奨します。また、金属たわし、クレンザー(磨き粉)等は、器具の表面が損傷するおそれがあるので、汚れ除去及び洗浄の際には使用しないでください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者： 株式会社 根本商会